

「いろいろな生き物をつかまえる」

小林 龍之介（こばやし りゅうのすけ） 6歳

アソカ幼稚園

（大阪教区）

●表紙のことは●



画面の下部には、草むらにいる生き物を、網を使って今まさに捕まえようとしている龍之介君自身が描かれています。視線の先にはテントウムシでしょうか、他にもいろいろな生き物が潜んでいるようです。画面の上端には上下が逆さまになった状態で同じく草むらが描かれ、そこにも虫や小動物などが描かれています。そして、画面の中央には水色や青色で、川とそこにいるさかなやザリガニなども描かれています。展開表現と呼ばれるこの時期特有の空間表現です。この作品は単なる経験の再現ではなく「大きくなったらどんなことがしたい？」との発問に応えたものです。龍之介君は、あらゆる所にいる、あらゆる生き物をどんどんつかまえないという夢を、想像の世界の中で実現しています。それぞれの生き物の特徴をしっかりとイメージし、どこにいる生き物なのかを考えながら描き進めていきました。先生は「楽しそうだね」「何匹つかまえられるかな？」と楽しい想像がよりふくらむように声掛けをされたそうです。

おおはし いさお
大橋 功

岡山大学学術研究院
教育学域